



ハトダヨ  
2018年  
7月号

函館市中央図書館

編集・発行 函館市中央図書館 指定管理者 TRC 函館グループ

〒040-0001 北海道函館市五稜郭町 26 番 1 号

TEL (0138) 35-5500 FAX (0138) 35-5525

市中央図書館だより

第27号 平成30年7月1日 発行

## 予約ランキング

図書館でたくさん予約が入っている本は何か、みなさんにご存知でしょうか。ランキングを参考に読みたい本を探すのも一つの方法です。ご予約は図書館の窓口、またはインターネットからどうぞ。

＼平成30年6月1日現在、予約回数の多かった本をご案内しています／

1	魔力の胎動	東野 圭吾／著	11	路上のX	桐野 夏生／著
2	おらおらでひとりいぐも	若竹 千佐子／著	12	あやかし草紙	宮部 みゆき／著
3	おもかげ	浅田 次郎／著	13	おまじない	西 加奈子／著
4	屍人荘の殺人	今村 昌弘／著	14	大家さんと僕	矢部 太郎／著
5	かがみの孤城	辻村 深月／著	15	オンナの奥義	阿川 佐和子／著
6	棲月	今野 敏／著	16	刑事の怒り	薬丸 岳／著
7	盤上の向日葵	柚月 裕子／著	17	ラプラスの魔女	東野 圭吾／著
8	九十歳。何がめでたい	佐藤 愛子／著	18	剣と十字架	佐伯 泰英／著
9	道標	今野 敏／著	19	駐在日記	小路 幸也／著
10	銀河鉄道の父	門井 慶喜／著	20	キラキラ共和国	小川 糸／著

## イベント告知

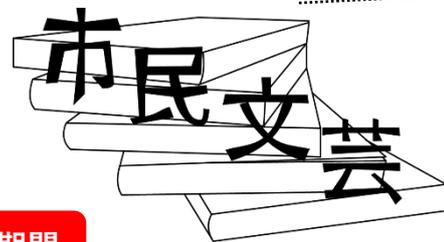
### 体験してみよう！ 夏休みこども図書館員



日時：第1回 7月30日（月）9時～12時  
第2回 7月31日（火）9時～12時  
対象：市内の小学校5・6年生 24名（12名×2回）  
内容：本の整理、本の貸出返却、ブックコートがけ体験等  
申込：往復はがきに「住所」「氏名」「電話番号」「学校名・学年」「参加希望日」を記載のうえご応募ください。  
発表：当選落選に関わらず返信はがきにて結果のご連絡をいたします。  
締切：平成30年7月9日（月）※当日消印有効  
お問合せ：函館市中央図書館 ☎0138-35-5500

### 第58回

作品公募開始！



公募期間

消印有効

平成30年7月1日（日）～9月30日（日）

市民文芸チラシ裏面の【応募用紙】を使って応募できます！

気軽に書いて、出してみませんか？

たくさんのご応募お待ちしております！

※詳しくは館内のチラシ・ポスターをご覧ください

ハトダヨにしか  
載っていない!

ぜひ読んでみてください!

## スタッフのおすすめ本

タイトル: 「なずずこのっぺ?」

棚: 児童カウンター横  
請求記号: E 11

カーソン・エリス/さく アーサー・ビナード/やく 出版社: フレーベル館 (2017年11月)

「なずずこのっぺ?」「わっぱどがららん」

これは一体何語で、なんと言っているでしょう?

正解は『昆虫語』!! 昆虫たちがひとつの花の芽をみつけて話し合います。

「なずずこのっぺ?」は「なにこれ?」、「わっぱどがららん」は「さっぱりわからん」という意味です。私たちの足元にいる昆虫たちも互いにこの『昆虫語』を使って会話しているのかも……。この絵本を読めば、昆虫たちとお話できるかも!? かもしれません。

タイトル: 「幽霊たち」

棚: A1~3  
請求記号: B933.7 7 本

著者: ポール・オースター 出版社: 新潮社 (2013年12月)

私立探偵ブルーが正体不明の男ホワイトから、ブラックという人物の見張りを依頼されることから物語は始まります。ブラックの生活に特に変わったところはなく、そんな人物を目的もわからず長期間監視しているうちに、ブルーは様々なことに思いを巡らすようになります。ホワイトの目的は何なのか。ブラックへの接触を試みたブルーが知った真実とは……。

読んでいくうちに自分もブルーの思考の中に紛れ込んでしまったような、不思議な感覚にとらわれました。読後すぐに読み返したくなる魅力的な作品だと思います。

タイトル: 「猫本専門神保町にゃんこ堂の  
ニャンダフルな猫の本 100 選」

棚: A19~A21  
請求記号: 645.7 7 本

著者: 神保町にゃんこ堂 アネカワユウコ 出版社: 宝島社 (2015年3月)

この本はまさにタイトル通り、東京神田にある姉川書店内猫本コーナー「神保町にゃんこ堂」の猫店長リクオ君がおすすめ本を紹介してくれます。

様々なジャンルのおすすめ本はにゃんこ堂が「猫好きホイホイ」の異名をとるのも納得の内容です。またリクオ店長の一言コメントも思わず微笑んでしまう面白さで、猫好きの方はもちろんのこと、そうでない方も十分楽しめます。おすすめ本の中には図書館所蔵の本もあるのでぜひどちらも読んでみてください。

# 館長随想 (二十七)



図書館開架室手前にある展示が、「市民文芸」から、「箱館戦争開戦百五十年」に変わりました。函館市中央図書館が持っている写真の中から、明治元年前後のものを選んで展示しています。

函館の図書館は、多くの貴重な資料を持っていますが、貴重なために自由にお見せすることはできません。先月まで函館美術館で、有名な土方歳三、榎本武揚の写真をはじめ展示しご覧いただきました。図書館でこのような資料を展示しようと思っても、直射日光が入る所ばかりで、歴史的な資料は傷んでしまっています。ですから、今回はデジタル化したデータからプリントして大きく引き伸ばして展示しています。

皆さんも、図書館ホームページで設けている「デジタル資料館」というサイトでご覧いただけます。一万点をこえるデジタル資料の公開数は、国内の図書館ではトップレベルです。かなり高い解像度ですから、有名な「夷酋列像（御味方蝦夷之図）」などは、パソコン画面で拡大すると、この絵は絹に描かれています。絹の折り目まで見えます。本物を見るのなら、明るい所で大型のルーペを使わなければ無理です。このような貴重な絵は、美術館、博物館に貸出しても、長期間展示するので作品保護のためかなり暗い照明しか当てられません。ですから、明るいデジタル画面は本物を見るより鮮明にご覧いただけます。

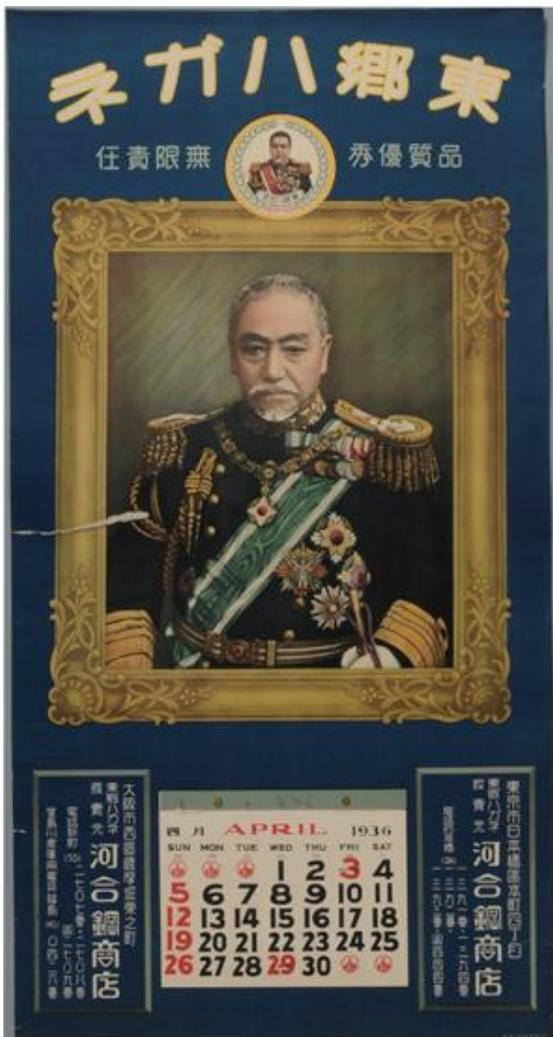
貴重な資料のデジタル化は、かえってより広く沢山の方々に見てもらえる手段です。そして現物の劣化を防ぎます。ホームページからアクセスするだけですから、気楽に一度ご覧になってはいかがでしょうか。

# デジタル資料館 紹介

東郷ハガネ (p0001733)

後の海軍大将・東郷平八郎は、戊辰戦争では宮古湾海戦や箱館海戦に参加。東郷ハガネは洋鋼の商標に東郷の名を冠したものだ。この東郷ハガネを使用した刀工・羽山円真は、幕末期に来函し蝦夷の砂鉄で日本刀を打った源正雄の弟子である。

(参考『函館・道南大事典』『鉄と日本刀』『日本刀工 刀銘大鑑』)



はこだて たなばた

# 函館の七夕

函館の七夕といえば、今も昔もローソク貰い。子供たちの楽しいイベントです。  
「♪～竹にたんざく たなばたまつり おおいに祝お ローソクいっぽんちょうだいな」  
浴衣を着て、提灯を持って、いつまでも明るい初夏の宵を皆で歩いたものでした。

この季節行事は北海道のいくつかの地域にのみ残る伝統で、  
実は私たちは懐かしくも貴重な体験をして成長したわけなのです。

提灯の灯が遠く近くゆらゆら揺れる情景は風物詩と呼ぶにふさわしく、  
大きな子が小さな子の手を引いて気遣う誇らしい子供の時間だった気がします。  
あたりまえに思えた年中行事に、育まれていたのですね。

この函館の七夕は、雑誌「こどものとも」で絵本になっています。

「**ろうそくいっぽんちょうだいな**」**飯野まき著 福音館書店**

- ・閲覧のみ 2階の郷土コーナー窓口にお尋ねください。
- ・貸出可能 「こどものとも 2015-7 712号」に収録
- ・貸出可能 中央館 児童コーナー（児3-6）



図書館でも七夕の行事を準備しています。

☆千歳図書室  
7月1日（日） 10時30分から（申し込み不要）

☆中央図書館  
7月7日（土） 10時から11時30分（事前申し込み制）

七夕の工作と読み聞かせの楽しい会です。  
どうぞご参加ください☆★

